

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル

株式会社 ルネサス テクノロジ

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A582A/J	Rev.	第1版
題名	MMCIF の CRC チェック機能について		情報分類	技術情報	
適用製品	HD6417720	対象ロット等	関連資料	SH7720 ハードウェアマニュアル Rev.2.00 (RJJ09B0027-0200)	
		全ロット			

SH7720 のマルチメディアカードインタフェース(MMCIF)の CRC チェック機能に注意事項があります。
現象と回避策は下記のとおりです。

1. 現象

MMC モードで動作中に R2 レスポンスの CRC チェックをハードウェアで行うと正しくチェックが行われない場合がある。

2. 回避策

次の回避策を実施してください。

- (1) MMC から R2 レスポンスが返ってくるコマンドを発行する場合には、レスポンスタイプレジスタ(RSPTYR)の RTY6 ビットを“0”に設定し、ハードウェアで CRC チェックを行わない設定にする。
- (2) R2 レスポンスの受信が完了した後にレスポンスレジスタ 0~16(RSP0~RSP16)の値を読み出して、ソフトウェアにて CRC チェックを行う。

* CRC チェックの方法については MMC System Specification に記載されていますので参照してください。